

公民館だより No.116

2010. 9. 15

ひがしの

東野公民館発行 恵那市東野1342-1 ☎26-2555

人口 1,824 人

(男) 886

(女) 938

世帯数 600 戸

(H22.9.1 現在)



水墨画による「百薬より」

楽しい墨絵の会 脇山康子 画

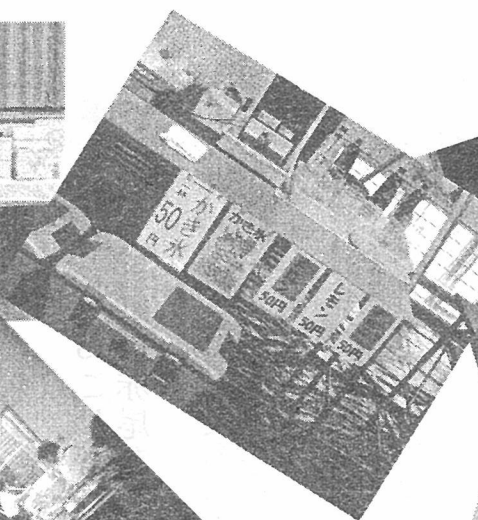
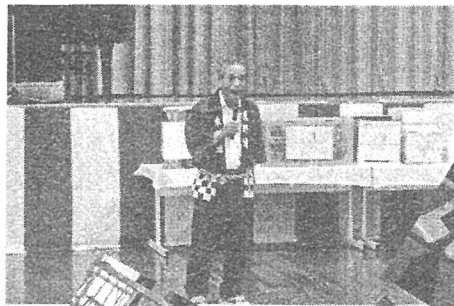
東野納涼夏祭り

雨のため、小学校の体育館で開催
600人あまりの人で賑わう

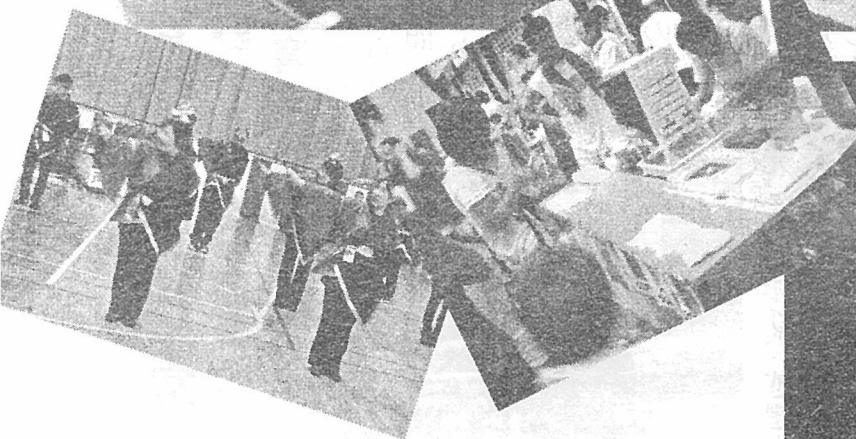
雨のため小学校の体育館で開催する事になった納涼夏祭りでしたが、可知恵那市長、水野県議、光岡市会議員ら来賓の参列のもと盛大に行なわれました。夕方5時を過ぎる頃から、東野住民や近隣住民、お盆で帰省した人たちが続々と集まり、体育館は人でいっぱいになりました。焼きそば、フランクフルト、かき氷にオモチャ。流しそうめん、金魚すくいと出店も大賑わい。「子どもクイズ」に続き盆踊りにバサラ、そして加藤拓三さんの和太鼓が披露される頃には祭りが最高潮に達しました。豪華な賞品がいっぱいの抽選会では、特等の掃除機の当選者が発表されると「ワッ」と歓声が上がりました。最後に予定通り花火が打ち上げられ、近年に無い豪華なスターマインで納涼夏祭りは終わりました。



- 主催：東野夏祭り実行委員会
- 後援：恵那商工会議所
- 大会長：遠藤龍美
- 実行委員長：藤井宣勝
- 売店：やきそば、ラムネ、フランクフルト、ビール、かき氷、金魚すくい、工作とゲーム、オモチャ
- 協力出店：虹の会、フレンドリー 阿木川湖
- 振舞い酒：2斗樽
- 抽選会商品：特等・1～5等
特等商品は掃除機
- 催し物：盆踊り、子どもクイズ
鳴子踊り、和太鼓演奏
- 打ち上げ花火



夏祭り



東野公民館

夏休み子ども講座

夏休み子ども講座が開かれました。今年はたくさん子どもたちの参加があり、賑やかで楽しい講座となりました。

その1

●夏休み！火おこし&ピザづくり
(講師 赤尾友和さん)

小学生16名が参加して行なわれたこの講座。屋外で火おこし道具を使って火をおこし、ピザを焼いて食べました。火をおこすのが大変で、思ったほど簡単に火はおきません。体力と根性が勝負。それでも1時間ほど頑張って火がついた時には一斉に歓声があがりました。「ドラム缶の釜で焼いたピザは一段とおいしい」と子どもたちは笑顔でいっぱいでした。



火おこし道具の説明を聞く子ども



ピザを作って・・・

★ドリルやロクロを使って、木に穴をあけ、削ってさいころと楊枝入れを作りました。みんな真剣な顔です。



小学生11人が参加。自分でコマを作って遊ぶ。そんな楽しい講座が開かれました。「さいころコマ作り」と「木工ロクロ体験」に子どもたちは大喜び。小林さんの親切な指導で難しい工程もクリアでき、作る喜びを味わった体験講座でした。

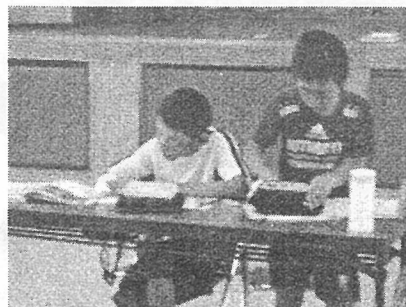
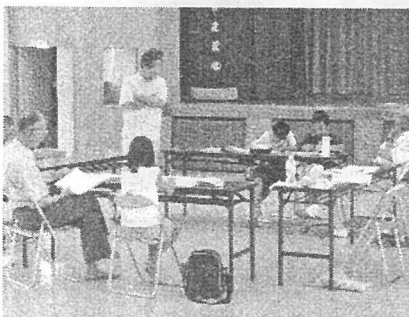
その2

●ロクロ体験とさいころコマづくり
(講師 小林一雄さん)

「東野ひとづくり子ども教室」

東野まちづくり委員会
教育文化部会が開く

夏休みに入った7月27日から30日までの4日間、「東野ひとづくり子ども教室」が東野公民館で開かれました。東野まちづくり委員会教育文化部会が開いたもので、午前9時30分～12時まで。参加した子どもたちは、宿題や研究、作品作り、感想文などを持ち込み、支援者から相談や励ましをもらいました。「子どもたちには、夏休みに見てあげたいけど忙しいので時間がとれない、豆学校がもつとあったらいいな」との声にこたえたもの。参加した子どもたちは熱心に学習に取り組んでいました。



NPO法人とは、平成10年(1998年)施行の「特定非営利活動促進法(NPO法)により法人格を認証された民間非営利活動団体。法的には「特定非営利活動法人」という。



◆季節の野菜を売っています



◆昨年の川遊びの様子

懐かしい昔の話

村芝居の割りご弁当が楽しみな
実りの秋(晴れ食・行事食)
恵東座(えとうざ)の芝居

お蚕をしまい、一区切りをつけたところで、村芝居が催される。青年団を中心に夜ごと練習した忠臣蔵や義経千本桜などの出し物を、顔なじみの村人に見てもらう。芝居は、恵東座という回り舞台のついた常設の立派な芝居小屋で行なわれる。若い娘は着飾り、他家へ嫁に行った娘は里帰りをする。新参の娘を村人に披露する場でもある。一年中で村が一番華やぐ一日となる。主婦は朝早くからわりご弁当をつくる。わりごとは、中にしきりのついた小さな漆塗りの弁当箱で、お祭りには10個くらい入る共の手さげ箱に入れてさげていく。一人で数個の弁当を食べる人もあるし、来客があった時足りない事のないように、何十個も詰める。この日は白飯を炊き、おかずにはかまぼこ、こも豆腐、秋えんどうやサトモの煮たものなどをつくる。

(日本の食生活全集 聞き書
岐阜の食事 1990 発行)より

東野阿木川ダム湖畔で農産物を主体とした地域特産品を販売している「ふれんどー阿木川湖」のNPO法人化に向けた総会が7月22日、東野みどり館で開かれました。平成17年度に阿木川湖畔の空き店舗で販売を始めて5年。特産品の販売に加え、名古屋観光物産展、みのりのみのり祭り、東野夏祭りなど各種の催し物に積極的に参加してきました。総会では法人設立の要件を検討。NPO法人化することで、さらに多くの皆さんに企画・運営に参加をいただき、「ふれんどー阿木川湖」を地域おこしの拠点としていく事を確認して総会を終わりました。

「ふれんどー阿木川湖」 NPO法人化に向けて設立総会 (7月22日 みどり館)

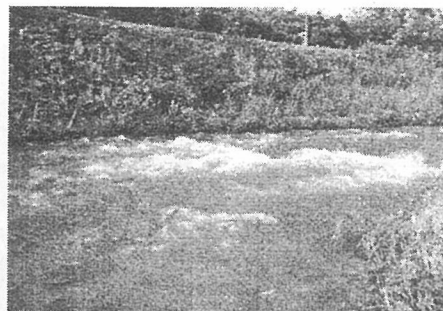
川遊び、中止

前日までの大雨で川が増水

◆東野青少年育成会義

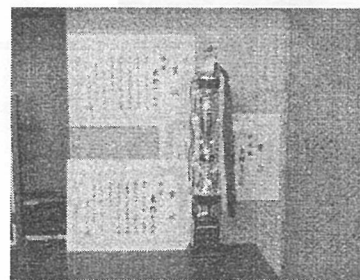
◆東野子ども会育成会

◆東野小学校PTA



◆川遊び(予定) 前日の川の様子

8月22日(日)、子どもの川遊びを予定していましたが、前日までの大雨で川が増水し、危険も予想されました。この日を乐しみにしていた子どもたちも多かったことと思いますが、止むを得ません。次の機会を乐しみにしてください。



恵那市老連 軽スポーツ大会 東野チームが大活躍

8月25日(水)榎根グラウンドで行なわれた市老連軽スポーツ大会で東野東雲会が大活躍をしました。

出場者と成績は以下のとおり。

◆ゲートボール 優勝(渡辺英夫、西尾登神谷正枝、土方友秀、松葉たけよし)

◆ペタンク 四位(堀秀平、伊藤正宏、市川宏明)

◆グラウンドゴルフAチーム 準優勝(伊藤宮夫、永野晋、渡辺昌良、古山良人)

◆Bチーム(与合和武、渡辺修、渡辺正昭、千藤恵三)

◆ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフAチームは、9月30日、瑞浪市で行なわれる東濃大会に出場が決まりました。

われる東濃大会に出場が決まりました。

われる東濃大会に出場が決まりました。

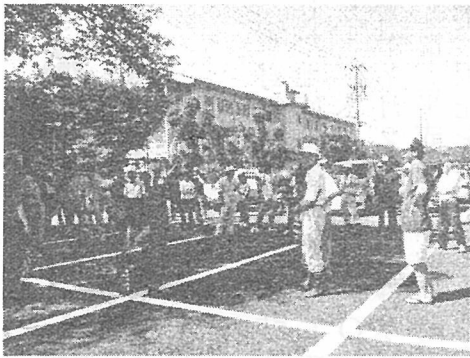
われる東濃大会に出場が決まりました。

今年の夏は「ちょっと変！」

猛暑・酷暑・激暑・真夏日・熱帯夜
地球温暖化が言われて久しいが、とりわけ今年の夏は暑い。誰もが実感するところ。消防庁の集計によると熱中症の死者数は30年前の6倍だそう。都会の一人暮らしの老人、田舎での畑仕事に倒れる老人。老人に限らず中には子どもや若者も。テレビのニュースは連日のように猛暑・激暑と繰り返す。東野においても35度の日は珍しくもない。36度、37度の日も何日あった。どこか変な、というより異常な夏だ。

防災訓練行われる(9・5)

9月5日、午前8時のサイレンを合図に東野地区で防災訓練が行われました。各自治会ごとに参集訓練を実施。その後、公民館に住民、消防団員、開発振興会役員など



約80名が参集しました。各自治会の非難状況の報告を受けた後、消火栓の使い方について学びました。「備えあれば憂いなし。」日頃から防災意識を高めておきましょう。

きれいになりました

東雲会会員15名

花壇整備と慰霊碑周りの草刈に汗

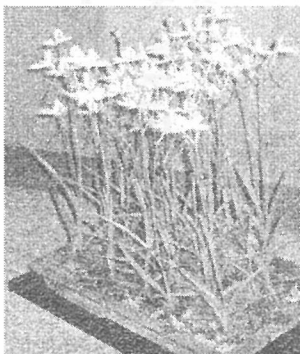


9月1日、東雲会会員15名が東野地内の花壇と慰霊碑の周りの清掃作業に暑い中、汗を流しました。皆さん元気で笑顔いっぱい。きれいになった土手に座って、和気藹々と談笑する皆さん。お疲れさまでした。

「さぎそう」が満開です

東野公民館事務室

南大門の小坂千花さんが届けてくださったもの。鉢に30本ほどが植えられ、驚が羽を広げた姿に似た真っ白の花が綺麗に咲いています。小坂さんが丹精こめて育てられ、昨年も届けてくださいました。衣服の清涼剤です。



文芸

○花無山八月句会

秋蚕飼ふ傷痍軍人たりし身に

市川茶山

市川芳子

掌にのせていとしきものに荏苒何の子

内木伊都子

大護摩の炎の火照り夏越い

西尾美恵子

「戦友」を唄ふ老どち敗戦日

松本はるか

夏負けの朝の一膳もて余す

千藤恵三

咲き揃ふ月下美人は月の色

○サークル短歌 (九月詠草)

鈴木喜一郎

横に来て眠れる犬がときに鳴く

互いに描く夢異なれど

カサカサとせんこう火花が弾きあう

私は何処あなたは誰

市川茂子

サイレンに草刈機を止め広島を

長崎を思いつつ手をあわせたり

草刈機使ってみたいと青年は

ネパールの親思い出すらし

赤尾架夫

木に登り猿が手を掲げ招くごと

ゆらりゆらりと葛の咲きおり

木の葉笛唱歌一曲吹いてみる

街を見下ろす展望台に

東野体協コーナー



準優勝の東野ハドミントンチーム

本年度の8月の行事の結果を報告します。

○第6回恵那市市民体育大会夏季大会

〃バドミントン・ソフトボール壮年

両種目準優勝〃

今年で6回目となる恵那市市民体育大会夏季大会は、8月15日(日)から22日(日)まで開催され、東野は軟式野球、バドミントン、クレー射撃、ソフトボール、アーチェリーに出場しました。今年の大会ではバドミントンとソフトボール壮年が準優勝となるほか他競技も昨年の成績を上回る活躍をされました。

○バドミントン 準優勝

○アーチェリー 4位

○ソフトボール壮年 準優勝

○軟式野球 9位

○クレー射撃 5位

○今後の行事予定

本年度の住民大会も残すところソフトボール大会のみとなりました。東野住民の皆様には、健康と親睦のため、推進委員のお誘いがありましたら積極的なご参加をお願いいたします。また、市民体育大会は、秋季大会(駅伝、サッカー等)、冬季大会(スケート、スキー)が予定されています。参加希望の方は東野体協事務局までご連絡ください。

○第37回ソフトボール大会

日時 11月7日(日)午前8時から

場所 東野小学校グラウンド

今年で37回を数えるソフトボール大会は、昨年度までの二つの分団の合同チーム同士の親睦大会から変更して、従来の分団対抗といたしました。推進委員さんがお誘いしますのでご参加ご協力をお願いいたします。

○第35回東野住民ふれあい体育祭

昨年は新型インフルエンザの影響で中止となりましたが、先日、第1回の運営委員会が開催されました。開催期日、競技種目などなど検討され、おおむね昨年の大会要領と同様の内容で開催することとなりました。東野体育協会も共催行事として、多くの住民の方々の参加をお待ちしております。

開催日 10月17日(日)

○市民体育大会

バスケットボール

開催日 10月3日(日)

ゲートボール

開催日 10月13日(水)

駅伝

開催日 11月28日(日)

おしらせ



「公民館だより」を探しています。

「公民館だより」第1号が発行されたのが昭和47年。あれから39年。今回で116号の発行となりました。公民館だよりは東野の歴史を知る上で貴重な資料として大切に保存していますが、残念ながら以下の号が欠けています。お持ちの方がみえましたら公民館までお知らせください。

★第8号(昭和51年発行)、★第16号(昭和55年発行)、★第20号(昭和58年発行)、★第47号(平成9年度発行)、★第54号(平成10年発行)、★第58、★59、★60号(平成11年発行)、★第66号(平成12年発行) 東野公民館 ☎26-2555

後期公民館講座が始まります

9月11日から受講受付が始まっています。
お早めにお申し込みください。(～9月30日)

- 身近な植物見て歩き ○かな書道
- いきいき歌声 ○レカンフラワー
- 囲碁を楽しもう ○リフレッシュ体操
- おいしいおやつ作り ○Walk&Talk
- ネイチャークラブ ●旬菜料理

◆休館日(変更の場合は、玄関に掲示します。)

9月 6, 13, 21, 22, 23, 27

10月 4, 12, 13, 18, 25

11月 1, 4, 8, 15, 22, 24, 29

行ってみよう触れ合いの場

東野文化祭

フリーマーケット出店者を募集

詳細は東野公民館まで

★申し込みは、10月20日までに
文化祭実行委員会事務局
東野公民館 ☎26-2555 まで

(東野まちづくり委員会・教育文化部会)

講演会のお知らせ(入場無料)

古代の官道・「東山道と東濃地方」

- 日時: 平成22年10月9日(日)
午後1時30分～3時30分
- 会場: 東野公民館2階大会議室
- 講師: 東山道研究家 渡辺俊典氏

★当日の資料準備のため、講演会にご来場希望の方は、電話あるいはFAXで東野振興事務所までお申し込みください。

☎26-2244 FAX20-0126

当面の行事予定

- 9月18日(土) 東野小学校運動会
- 9月20日(月) 敬老会
- 10月17日(日) 住民ふれあい体育祭
- 11月 6日(土)、7日(日) 東野文化祭
- 11月14日(日) 東野歌舞伎

編集後記

黄金色の稲穂の輝きがまぶしい。その稲穂の上にひろがる真っ青の空に、沢山の赤とんぼが飛びまわっているのを見て、ふと子どもころ遊んだトンボとりを思い出した。さあ、おの先や、稲穂のさきにとまったトンボの正面から人差し指をくるくる回して近づいていくと、不思議とトンボが目玉を回す。(エッ?) タイミングを見て手でサッと捕まえる。何度も何度も繰り返すが簡単には捕まえない。やはり「たも(網)」で捕まえるのが一番。捕まえたオニヤンマの尻尾に長い糸を縛りつけ、風を操るようにして遊んだ。トンボにはちよつとかわいそうだが、子どもにとっては楽しい遊びだった。その頃の稲刈りは、10月に入った頃から始まって、家族そろって何日も作業にあたった。コンバインなど無い時代で、すべてが手作業。朝から晩まで暗くなるまで働いた。今から思えば大変な重労働だ。今年も稲刈りがはじまったが、コンバインでの作業、稲刈りが終われば翌日には新米が食べられるという当時では考えられないほどの早さだ。稲刈りを終えて、今日は新米を炊いて食べようかと思っている人もおられるだろう。何はともあれ、おてんと様と自然の恵みの有り難さに感謝するのみ。

公民館長

